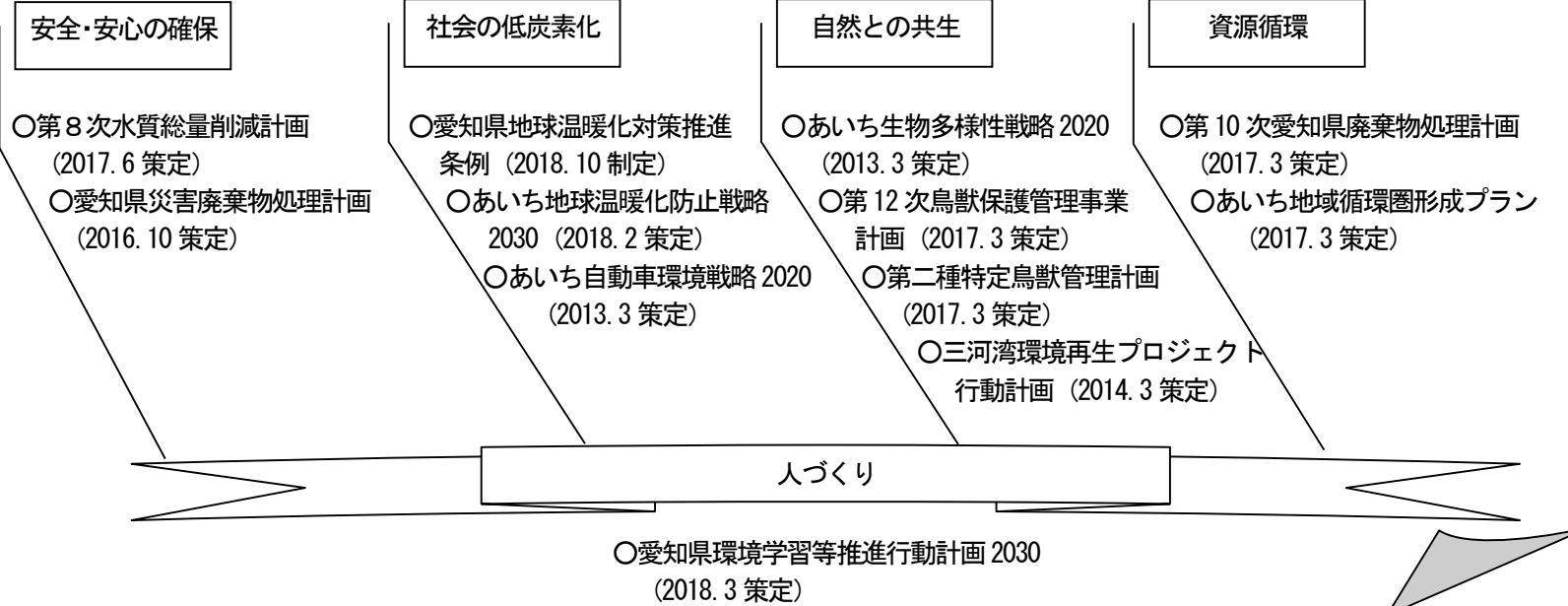


第5次愛知県環境基本計画の策定について

第4次愛知県環境基本計画 (2014.5 策定)

◎愛知県環境基本条例に基づき策定
 (環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るためのもの)
 【計画期間】2030年までの長期を展望し、環境保全の目標を提示、
 2020年までに取り組む施策の方向を提示
 【目標】県民みんなで未来へつなぐ「環境首都あいち」
 <目標実現に向けた「3つのあいち」づくり>
 ①環境と経済の調和のとれたあいち、②安全で快適に暮らせるあいち、③県民みんなが行動するあいち
 <取組分野>
 「安全・安心の確保」、「社会の低炭素化」、「自然との共生」、「資源循環」に向けた4つの分野ごとに、具体的な取組を推進するとともに、総合的な施策推進のため、持続可能な未来のあいちの担い手育成「人づくり」に重点的に取り組む。

分野別プラン・戦略の策定・展開



第4次計画策定以降の主な動向

- 世界における動向
 - 持続可能な開発目標 (SDGs)、パリ協定の採択 など
 - ESG投資の拡大
- 我が国における動向
 - 人口減少・少子高齢化社会の進行
 - 多発する自然災害 (地震、台風、集中豪雨)
 - 第四次産業革命と呼ばれるAI、IoT等の技術革新 など
- 本県における動向
 - 「持続可能な開発のための教育 (ESD) に関するユネスコ世界会議」の開催
 - SDGs未来都市に選定 など

第4次計画の進捗状況・評価

- 光化学オキシダントによる大気汚染、伊勢湾・三河湾の水質汚濁など、改善が必要な課題がある
- 地球温暖化への対応、生物多様性の保全、海洋プラスチックごみ問題など、引き続き取り組むべき課題が残されている

国・第5次環境基本計画 (2018.4 閣議決定)

<目指すべき持続可能な社会の姿>
 「地域循環共生圏」の創造などを通じた循環共生型の社会 (「環境・生命文明社会」)

<6つの重点戦略>

- ①持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築
- ②国土のストックとしての価値の向上
- ③地域資源を活用した持続可能な地域づくり
- ④健康で心豊かな暮らしの実現
- ⑤持続可能性を支える技術の開発・普及
- ⑥国際貢献による我が国のリーダーシップの発揮と戦略的パートナーシップの構築

<重点戦略を支える環境政策>

- 気候変動対策
- 循環型社会の形成
- 生物多様性の確保・自然共生
- 環境リスクの管理
- 基盤となる施策
- 東日本大震災からの復興・創生及び今後の大規模災害発生時の対応

次期あいちビジョン (2020. 秋頃策定予定)

本県の総合計画
 リニアの全線開業が想定される2040年頃の社会経済を展望し、2030年までに取り組むべき重点政策の方向を示す

第5次愛知県環境基本計画 (2020年度策定予定)

- <計画の方向性 (案) >
- ◎ 「気候変動の影響への適応」や「海洋プラスチックごみ問題」など新たな環境課題に対応
 - ◎ SDGsの考え方を導入し、持続可能な社会の実現を目指す
 - ◎ 2040年までの方向性を示すとともに、2030年までの間に取り組む施策を提示

など